



田空だより

# なすの大地 第24号

2014年7月号 (通巻第24号)  
那須野が原西部田園空間博物館運営協議会 発行

## 〇これって何の広報誌なの？

当誌は「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」の広報誌です。田園空間博物館とは、地域の自然や史跡、施設等を田園空間に広がる展示物（サテライト）に見立てた屋根のない博物館です。那須野が原西部地区では烏森神社、乃木神社、三島神社、太夫塚神社、槻沢遺跡、常盤が丘（ときわがおか）、接骨木（にわとこ）の一里塚などをサテライトとしています。

## ☆平成26年度活動計画について

- 5 . 27 総会開催
- 5月～9月 サテライト清掃活動
- 7 . 20 会報「なすの大地」第24号発行
- 8月中旬 サテライト写真展（那須野が原公園展示ホール）
- 10 . 4 サテライト見学会
- 10 . 12 駅からハイキング開催（共催）①
- 10.18～19 小学生サテライト絵画展（西那須野産業文化祭会場）②
- 11 . 3 サテライト写真展（那須野が原博物館フェスタ会場）
- 11.15～16 生涯学習振興大会にてPR活動（宇都宮共和大学那須キャンパス）
- 11 . 22 第11回那須野が原ウォーク（共催）③
- 11.28～12.9 小学生サテライト絵画展（県庁展望ロビー）②
- 27年1月中旬 サテライト絵画展・写真展（那須野が原博物館エントランスギャラリー）②
- 1.29～2 . 8 小学生サテライト絵画展（那須野が原公園展示ホール）②
- 3 . 20 会報「なすの大地」第25号発行



総会の様子

※①～③については  
後記の募集記事をご覧ください。

## ◎参加者募集（平成26年度）について

### ①駅からハイキング「西那須野地区」（10月12日開催）

JR東日本が主催する駅からのハイキングを楽しむイベントで、西那須野観光協会などの各団体と共催になります。本年はアジア学院（那須塩原市槻沢）の収穫感謝の日に併せて、周辺を中心としたエリアで開催します。昨年は那須野が原公園周辺や千本松牧場の雄大な放牧場などを散策し、参加者から大変な好評をいただきました。

こちらに関するお問い合わせは、**西那須野観光協会事務局（0287-37-5107）**までお願いいたします。なお、以下は昨年開催時の様子です。



## ②小学生サテライト絵画展（平成26年10月～平成27年2月開催）

今年も博物館の対象地域内（旧西那須野地区、旧塩原の横林・接骨木地区）の小学校の5～6年生を対象にサテライトの絵画を募集いたします。

ご応募いただいた作品は、西那須野産業文化祭会場、県庁ロビー、那須野が原博物館エントランスホール、那須野が原公園展示ホールなどで展示させていただく予定ですので、各小学校までふるってご応募くださいますようお願いいたします。

26年度で5回目を迎える絵画展ですが、おかげさまで好評をいただき、毎年応募作品の数が増加しております。有難いことですが、会場によっては、スペースの都合で全ての応募作品を一度に展示できない場合もございます。誠に申し訳ありませんが、何とぞご理解をお願いいたします。

ぜひこの絵画展をきっかけに、一人でも多くの方に地元のサテライトを訪れていただき、田園空間博物館に興味をお持ちいただければ幸いです。

### ◎各会場の展示の様子（昨年度）



産業文化祭会場



県庁ロビー



那須野が原公園

## ③那須野が原ウォーク（11月22日開催）

那須野が原公園を中心に松方別邸、那須疏水探訪の小径、赤田調整池、サンサントワーなど周辺のサテライトを徒歩で巡る催しで、那須野が原公園、那須野ヶ原土地改良区連合、ホウライ株式会社、東京電力株式会社との共催になり、毎年多くの方にご参加いただいております。

コース周辺は例年11月下旬には赤や黄色の紅葉で美しく彩られます。是非この光景を多くの方にご覧いただきたく、本年は例年の10月から11月に開催時期を変更し、コースも一部追加し、周辺の紅葉並木を新たに加える予定です。

他にも、松方別邸周辺の散策路、千本松牧場の紅葉林、那須疏水沿いの雑木林、赤田調整池周辺の樹木、サンサントワーから眺める那須野ヶ原など紅葉の見所は数多くあります。

特に松方別邸周辺は広葉樹や紅葉の木が多く、取り分け燃えるような紅葉に包まれます。

10月中旬より受付を開始する予定ですので、是非ご参加ください。

また、過去にご参加いただいたことがある方も、是非もう一度ご参加いただき、いつもとは違った秋の彩りに包まれた美しい光景をお楽しみください。



松方別邸周辺の散策路



秋の松方別邸



紅葉並木

## ◎大貫版田園空間博物館について

田園空間博物館は全国的な取り組みで、那須野が原西部地区以外にも55もの田園空間博物館が存在しています。

当地区に隣接する塩原地区の大貫小学校では、総合的な学習の一環として「大貫版田園空間博物館」の活動に取り組んでおり、その取り組みについて、大貫小学校の鯉沼先生に紹介していただきました。

当協議会は、同じ田園空間博物館として、大貫小学校の児童たちが当地区のサテライトにも興味を抱いてくれることを期待しております。

『那須塩原市の南西に位置する大貫地区は、豊かな自然に囲まれた、とても美しいところです。また、歴史的な建造物や伝統的な文化も、たくさん残されています。それらは、これからも守っていかねばならない、地域の大切な宝物です。』

大貫小学校では、総合的な学習の時間に、地域探究学習「地域から発信する～歴史をさぐる～」に取り組んでいます。昨年度は10人の6年生が、これからも残していきたい大貫地区にある「宝物」をひとつずつ選び、調べ学習を進めました。建造物の歴史や由来、地域の自然の特色を明らかにするために、地域の方へ取材したり、実際にその場所に行って写真を撮ったりしてきました。そしてその成果を「大貫版田園空間博物館」という形にまとめました。

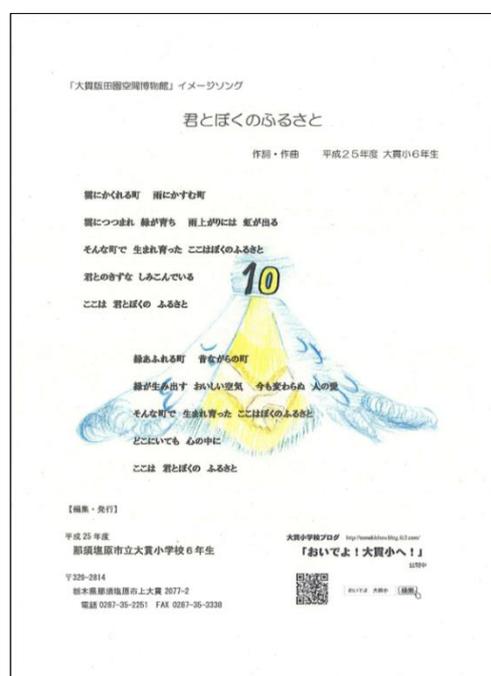
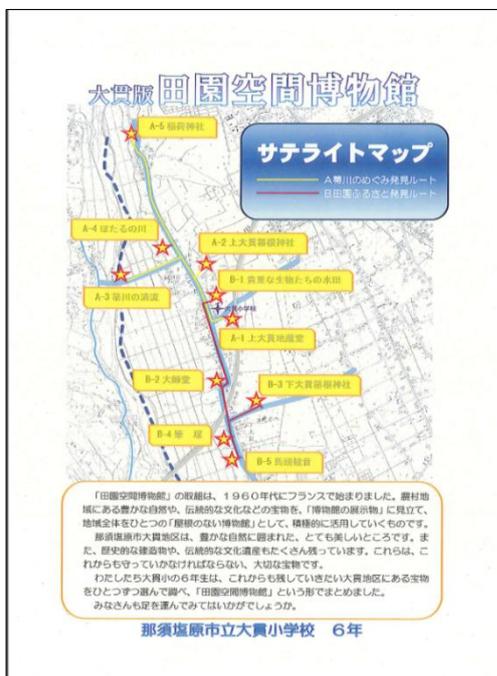
具体的には、子ども達が調べた「宝物」をサテライトとして、2つのルートを設定しました。一つ目は、箒川によって育まれる豊かな自然環境と、昔からの信仰をものがたるお寺や神社をめぐる、「箒川のめぐみ発見ルート」です。大貫小学校を起点に、高阿津地区へ向かうルートです。二つ目は、田園風景を楽しみながらふるさと大貫の歴史をさぐる、「田園ふるさと発見ルート」です。こちらは、下大貫地区へ向かうルートです。

11月に行った学習発表会「ぬくぬくフェスタ」では、地域の方々にルートやサテライトの説明をするためのプレゼンテーションを行いました。また、子どもが作詞を手がけたテーマソングを作り、披露することができました。

3月には「大貫版田園空間博物館サテライトマップ」を作成し、保護者や来校者に配布しました。また、那須野が原博物館とハロープラザにも置かせていただき、広く情報を発信することができました。

今回取り上げた10個のサテライトのほかにも、地域の「宝物」はまだまだまだたくさんあります。本年度も6年生が「大貫版田園空間博物館」の活動を引き継ぎ、取り組んでいるところです。子ども達が地域の「宝物」を発見し、地域のよさも発見する活動になれば、と思います。』

## 大貫版田園空間博物館 パンフレット ※次ページにも掲載しています。



◎大貫版田園空間博物館パンフレット（続き） ※前頁の記事からご覧ください。

### A 帯川のみぐみ発見ルート

帯川によって育まれる豊かな自然環境と、昔からの町（しんこう）をものごたおきや神社をめぐめるルートです。

**A-1 上大貫地蔵堂**  
この地蔵堂は350年以上前からあるそうです。現在の建物は、平成13年に建て直したものです。地蔵堂のそばには、たくさんのお石がならんでいます。昔の人々は、ひでりが続くとき、ここで「あまごい」をしていたそうです。

**A-2 上大貫稲根神社**  
社にかけられている文章を讀むと、この神社は、今から1230年ほど前からあったようです。稲根神社では、450年ほど前から行われていた伝統行事「城掛舞」が奉納されます。大貫小の子ども達が舞う姿、地域の方は楽しみにしています。

**A-3 帯川の清流**  
帯川は、全長約50kmの河川で、上塩原の白倉山から流れ始め、ながわ水遊園のそばで、那珂川に合流します。地域で行う生物調査では、様々な生物が確認されています。この地域の水がおいしいのは、帯川のきれいな水と、大切に川を守っている人々の努力のおかげです。

**A-4 はたる川**  
はたるのえさとなるカワナは、流れてあまり流れの強くない、きれいな川で生きていくことができます。「はたるの川」は、その条件がそろっているため、はたるがたくさんいるのです。栃木県の絶滅危惧種に指定されているヘイケボタルと注目種のアゲボタルの両方を見ることが出来ます。

**A-5 稲荷神社**  
稲荷神社は日本全国にあり、その数3万2千カ所にもなるそうです。この稲荷神社にまつられているのは「稲荷神」といい、穀物や農業の神様です。稲荷神社からは、大貫地区の水田がよく見えます。豊作を願って、ここに神社をつくったのかも知れません。

### B 田園ふるさと発見ルート

田園風景を楽しみながら、ふるさとの歴史をさぐるルートです。

**B-1 貴重な生物たちの水田**  
大貫地区は、那須塩原市の「C地域」にあります。「C地域」とは、東北自動車道より北にある、海拔が500mより低い地域のことです。大貫地区の水田は、アカハライモリやニホンアカガエルなど、貴重な生物が生きていくことのできる、とても素晴らしい環境です。

**B-2 大師堂**  
この大師堂は、下野新四国八十八か所のひとつとして置かれました。中には「弘法大師の像」がまつられています。「弘法大師の像」には、げたが飾られています。ここを含めて8カ所ある「大師堂」を、簀をしながら全てまわりすることを表しているようです。

**B-3 下大貫稲根神社**  
塩原には「稲根神社」という名前の神社がいくつかあります。下大貫の稲根神社がいつごろ建てられたのかは、くわしく分かりませんが、上大貫の稲根神社と同じように建てられたのではないのでしょうか。共に田んぼが静かな所にあり、とても落ち着くことができる場所です。

**B-4 稲 塚**  
稲塚は、昭和32年に建てられました。左側の石陣には大きく「稲塚」という字が刻まれ、右側の石陣には、石川啄木の「ふるさとの やまにわがいて 言うことなし ふるさとの山は ありがたきかな」という、大貫の恵にふさわしい短歌が刻まれています。

**B-5 馬頭観音**  
トラクターなどの機械がなかった時代、人々は、大事な働き手である馬を、家族の一員としてあつかっていました。そんな馬が死んでしまったとき、人々は感謝をこめて馬頭観音をつくりました。大貫には、馬頭観音がたくさんあります。そのひとつひとつを調べてみるのも、おもしろそうですね。

◎賛助会員募集のお知らせ

当運営協議会は、那須野が原西部地区の田園空間博物館の普及活動を通して、後世に地域の伝統や文化を継承することを目的に活動しておりますが、一緒に活動していただける賛助会員の方を募集しております。

協議会は、様々な事業を通して各種会場における田園空間博物館のPR活動を行っており、その為のパンフレットやガイドブックの作成も行っております。

具体的な事業として、サテライトの絵画展や写真展の開催、サテライト見学会を実施しており、作品や参加者の募集を行っております。

当協議会の活動の趣旨をご理解いただける方なら、どなたでもご入会いただけますので、入会を希望される方は、下記の運営協議会事務局までご連絡下さい。また、何かご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。

皆様のご参加を会員一同お待ちしております。

なお、会費は無料ですが、入会に際し所定の手続きが必要になりますのでご了承ください。

那須野が原西部田園空間博物館運営協議会

◇問い合わせ先◇

TEL 0287-37-5108（那須塩原市西那須野支所産業観光建設課内）

◇HPアドレス◇

<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/denkku/>

※当誌は那須塩原市の公民館で配布しておりますので、入手を希望される方は各公民館までお問い合わせ下さい。